

平成 26 年 6 月 5 日
独立行政法人労働安全衛生総合研究所
建設安全研究グループ
部長代理 大幢勝利

足場からの墜落防止措置に関するアンケート調査結果

1 アンケート調査の方法

(1) 調査の対象者

アンケートの対象者は、平成 10 年度から平成 25 年度までの安全優良職長厚生労働大臣顕彰受賞者であって、現在も就労している者とした(1,060 人)。

なお、本顕彰の受賞者は、職長等としての実務経験が 10 年以上であり、職長等として担当した現場において過去 5 年以上、休業 4 日以上の労働災害が発生しておらず、自身も職務に必要な各種資格を取得し、各種の安全衛生教育を十分に受講し、更に、安全管理に関する部下の指導教育等に積極的に活動している者である。

(2) 調査の時期

平成 26 年 1 月 31 日(金)から平成 26 年 2 月 14 日(金)に調査を行った。

(3) 調査の方法

厚生労働省労働基準局安全衛生部が直接、調査票を調査対象者へ郵送し、調査対象者が記入した後、独立行政法人労働安全衛生総合研究所建設安全研究グループに返送し実施した。

(4) 調査の内容

調査票(別添 1)のとおり。

(5) 有効回答率

調査対象者数 1,060 人のうち、有効回答者数 556 人、有効回答率 52.5%。

(6) 調査の結果

別添 2 のとおり。

基安安発 0131 第 1 号
平成 26 年 1 月 31 日

安全優良職長厚生労働大臣顕彰受賞者 殿

厚生労働省労働基準局
安全衛生部安全課長
(契印省略)

足場からの墜落防止措置に関するアンケート調査（協力依頼）

日頃から、建設業の現場で安全に取り組んでいただき、ありがとうございます。

さて、建設業における墜落災害は、死亡災害の 4 割と大きな割合を占めていることから、現在、厚生労働省では、平成 21 年 6 月に施行された改正労働安全衛生規則（以下「安衛則」という。）に係る墜落防止措置（注 1）の徹底及び同年 4 月に示された「より安全な措置」（注 2）の普及に取り組んでいるところです。

また、平成 21 年の改正の際、改正安衛則の施行後 3 年を目途に、その効果を把握して、所要の措置を講ずることとされていたことを踏まえ、昨年 9 月から、「足場からの墜落防止措置の効果検証・評価検討会」を開催し、議論を進めているところです。

その議論の中で、実際に足場の組立て等の作業を行ったり、足場を利用して作業を行っておられる方々の御意見を聴くことが不可欠であるという判断となったことから、「安全優良職長厚生労働大臣顕彰」受賞者を対象に本調査を実施することとなりました。

皆様には、現場の状況等を熟知されている職長等として率直に、別添のアンケート調査にお答えくださいますようお願いいたします。

別添のアンケート調査票に記入が終わりましたら、回答を終えたアンケート調査票を折りたたみ、同封の返信用封筒に入れ、封をした上で、独立行政法人労働安全衛生総合研究所 建設安全研究グループ 大幢勝利上席研究員あて平成 26 年 2 月 14 日（金）までに御送付くださいますようお願いいたします。

なお、封筒裏面に貴殿の氏名、御社の名称等を記載することとなりますが、同研究所では、封筒裏面の貴殿及び御社を特定する情報は利用せずに、アンケート調査票の内容のみを集計したものを厚生労働省へ送付することとしておりますので、率直にお答えください。また、アンケート結果は、足場からの墜落防止措置の検討に活用しますが、それ以外の用途には利用しないことを申し添えます。

注 1：わく組足場における交さ筋かい及び下さん等の設置、わく組足場以外の足場における手すり及び中さん等の設置、足場の点検事項の見直し等

注 2：わく組足場における交さ筋かい及び下さん等に加えて上さんの設置、わく組足場以外の足場における手すり及び中さん等に加えて幅木の設置、「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく手すり先行工法による足場の組立て等

(これらの内容については、参考資料 1 をご覧ください。)

足場からの墜落防止措置に関するアンケート調査票

I 年齢、職種、経験年数、請負形態に関する事項

1 年齢、職種、経験年数、今の業務に就いてからの経験年数、会社の請負形態について該当するものに○をつけてください。

(1) 年齢（満年齢）

① 20～29歳 ② 30～39歳 ③ 40～49歳

④ 50～59歳 ⑤ 60歳以上

(2) 職種

① 型わく工 ② 左官 ③ とび工 ④ 鉄筋工 ⑤ 電工

⑥ 配管工 ⑦ 大工 ⑧ 造園工 ⑨ これらに該当しない職種

(3) 今の業務についてからの経験年数

① 10年未満 ② 10年以上20年未満 ③ 20年以上30年未満 ④ 30年以上

(4) 会社の請負形態

① 主に元請であることが多い ② 主に下請であることが多い ③ どちらとも言えない

II 業務で使用している足場に関する事項

1 業務で主に使用している足場の種類は次のうちどれですか（複数回答可）。

① わく組足場

② くさび緊結式足場（本足場）

③ くさび緊結式足場以外の単管本足場（単管、クランプ、床材で構成されるもの）

④ 一側足場

⑤ つり足場

⑥ ローリングタワー（移動式足場）

⑦ 足場は使用する作業はほとんどない（脚立、可搬式・折りたたみ式作業台（床材と支持部材が分離できないもの）、高所作業車を含む。）

↳ 「⑦」を選択した方は、これでアンケートは終了です。御協力ありがとうございました。

2 業務で主に使用している足場の高さは次のうちどれですか（複数回答可）。

※ 足場のうち最も高い層の作業床（足場板）の高さをお答えください。

① 2メートル未満

② 2メートル以上5メートル未満

③ 5メートル以上10メートル未満

④ 10メートル以上

3 手すり先行工法による足場での作業の経験はありますか。

① よくある

② 時々ある

③ ほとんどない

④ ない

4 あなたやあなたにとって身近な同僚等が足場から墜落した経験はありますか。

- ①自らが足場から墜落した経験がある ②同僚等が足場から墜落した経験がある

③そのような経験はない → 「③」を選択した方は、「Ⅲ」へお進みください。

→ 「①」又は「②」を選択した方は、次の4-1にもお答えください。

4-1 どのような足場から墜落しましたか。

(1) 墜落した高さ

- ①2メートル未満 ②2メートル以上5メートル未満
③5メートル以上10メートル未満 ④10メートル以上
⑤不明

(2) 足場の種類

- ①わく組足場 ②くさび緊結式足場（本足場）
③くさび緊結式足場以外の単管本足場（単管、クランプ、床材で構成されるもの）
④一側足場 ⑤つり足場 ⑥ローリングタワー（移動式足場） ⑦不明

Ⅲ 通常作業時における足場からの墜落防止措置に関する事項

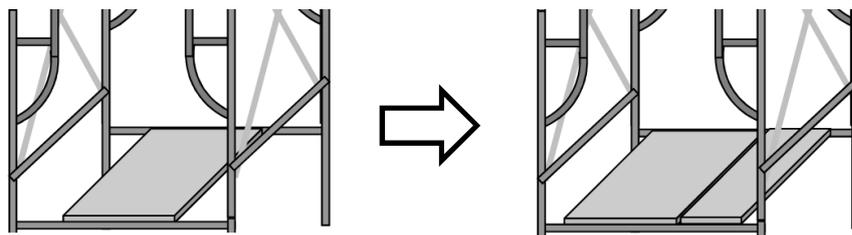
1 わく組足場を作業床として使う場合（足場の外側には、交さ筋かい、下さん及び飛来落下防止用のメッシュシートが設置されており、足場の躯体側で作業を行うものとします。）、足場の外側の墜落防止措置として、次の措置をどのように思いますか。また、差し支えなければ、そのように考える理由を記入してください。

(1) 上さんの設置

- ①必要 ②必ずしも必要ではないが、望ましい ③不要
理由()

(2) 足場板等により建地と作業床のすき間を狭くする

- ①必要 ②必ずしも必要ではないが、望ましい ③不要
理由()



(3) 幅木等により下さんの下のすき間を狭くする

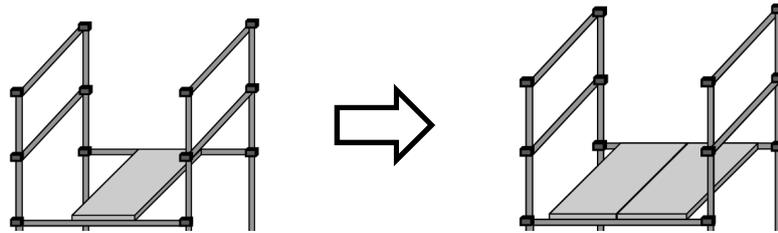
- ①必要 ②必ずしも必要ではないが、望ましい ③不要
理由()

2 くさび緊結式足場を作業床として使う場合（足場の外側には、手すり（作業床からの高さ 90 cm）、中さん（作業床からの高さ 45 cm）及びメッシュシートが設置されており、足場の躯体側で作業を行うものとします。）、足場の外側の墜落防止措置として、次の措置をどのように思いますか。また、差し支えなければ、そのように考える理由を記入してください。

(1) 足場板等により建地と作業床のすき間を狭くする

- ①必要 ②必ずしも必要ではないが、望ましい ③不要

理由（



(2) 幅木等により中さんの下のすき間を狭くする

- ①必要 ②必ずしも必要ではないが、望ましい ③不要

理由（

3 足場の躯体側での作業では、一時的に手すりや交さ筋かいを取り外す場合がありますが、このような場合の躯体側の墜落防止措置としてどのような措置を実施していますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- ①安全帯の使用 ②張出し足場の設置 ③安全ネットの設置

- ④作業後の手すり等の復旧 ⑤手すり等復旧後の点検

⑥その他（

「②」又は「③」を選択した方は、次の3-1にもお答えください。

3-1 あなたは、墜落により危険を及ぼすおそれがない躯体と足場板とすき間の基準を示される必要があると思いますか。また、差し支えなければ、そのように考える理由を記入してください。

- ①必要 ②必ずしも必要ではないが、望ましい ③不要

理由（

4 足場を使用する作業（足場の組立て、解体又は変更の作業を除く。）は、6時間程度の法定の義務である特別教育を必要とする業務とするべきだと思いますか。また、差し支えなければ、そのように考える理由を記入してください。

- ①必要 ②必ずしも必要ではないが、望ましい ③不要

理由（

2 次の手すり先行工法による足場の組立て作業に関するあなたの経験で当てはまるものに○をつけてください。

※ 手すり先行工法の種類については、参考資料2をご覧ください。

(1) 手すり先送り方式・わく組足場

- ①よくある ②時々ある ③ほとんどない ④ない

(2) 手すり据置き方式・わく組足場

- ①よくある ②時々ある ③ほとんどない ④ない

(3) 手すり先行専用足場方式・わく組足場

- ①よくある ②時々ある ③ほとんどない ④ない

(4) 手すり先送り方式・くさび緊結式足場

- ①よくある ②時々ある ③ほとんどない ④ない

(5) 手すり据置き方式・くさび緊結式足場

- ①よくある ②時々ある ③ほとんどない ④ない

3 足場（わく組足場及びくさび緊結式足場に限る。）の最上層で組立て作業を行う場合の墜落防止措置として、次の措置をどのように思いますか。また、差し支えなければ、そのように考える理由を記入してください。

(1) 足場の両側（躯体側及び外側）に一層下から先行して手すりを設置する

- ①適当 ②適当であるが、問題もある ③不適当

理由

[]

(2) 足場の外側に一層下から先行して手すりを設置し、そこに安全帯をかける

- ①適当 ②適当であるが、問題もある ③不適当

理由

[]

(3) 一層下から先行して親綱を設置し、そこに安全帯をかける

- ①適当 ②適当であるが、問題もある ③不適当

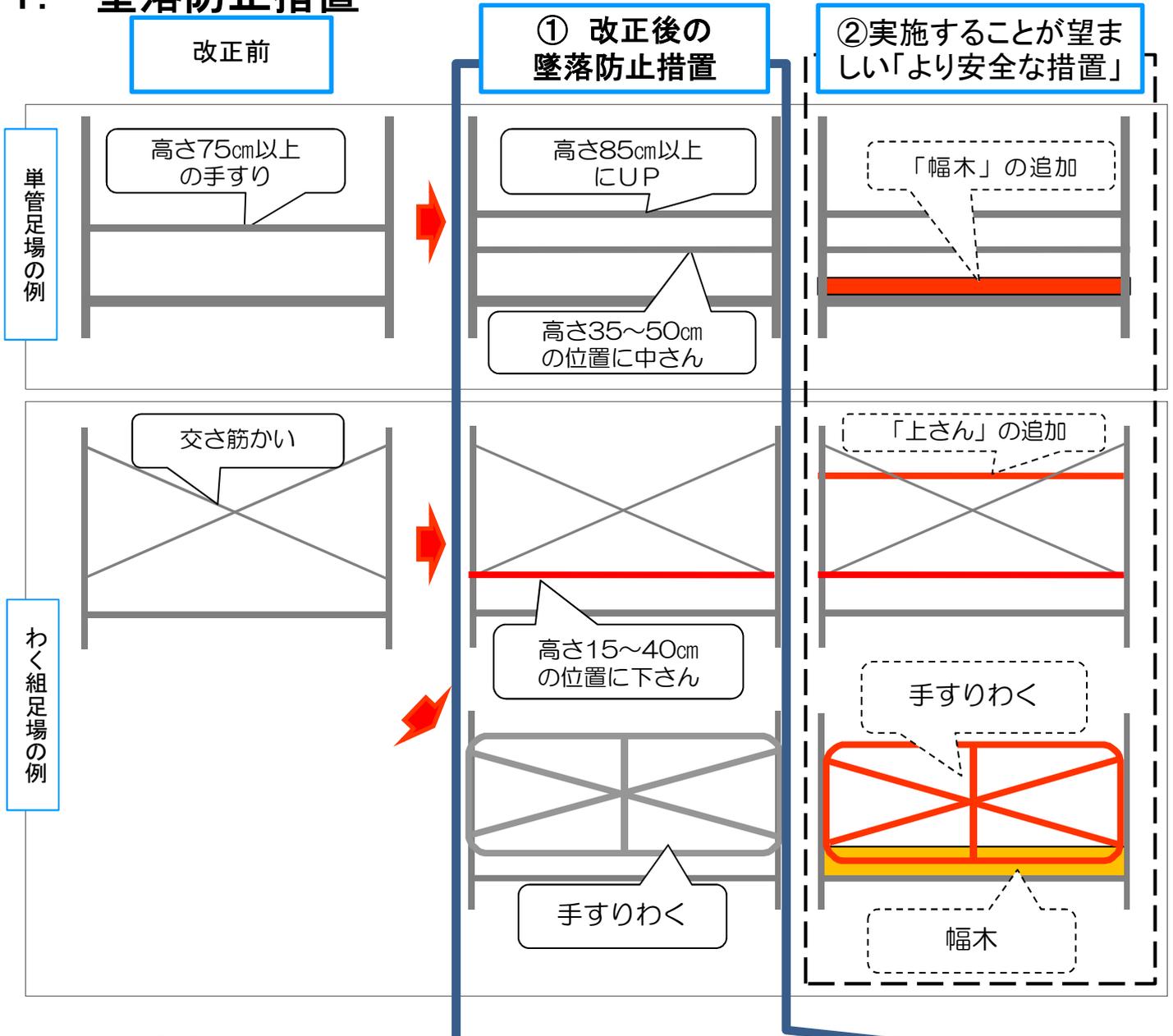
理由

[]

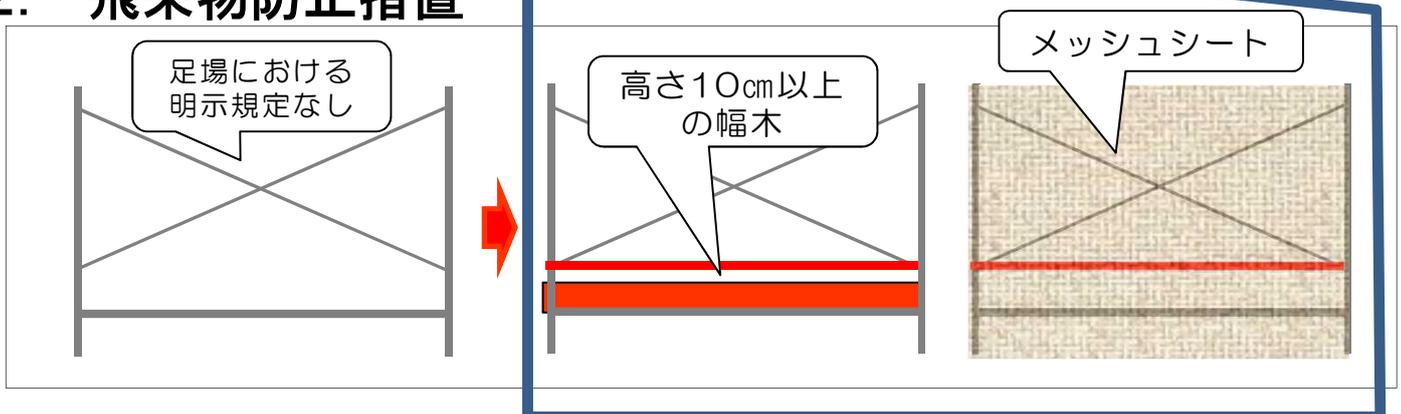
足場に関する安全対策

参考資料
1

1. 墜落防止措置



2. 飛来物防止措置



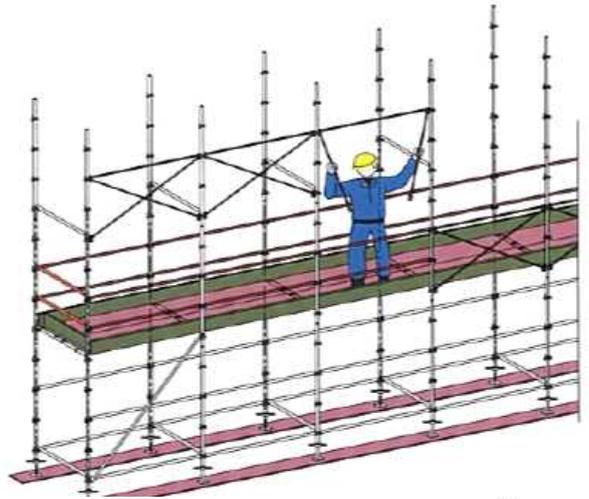
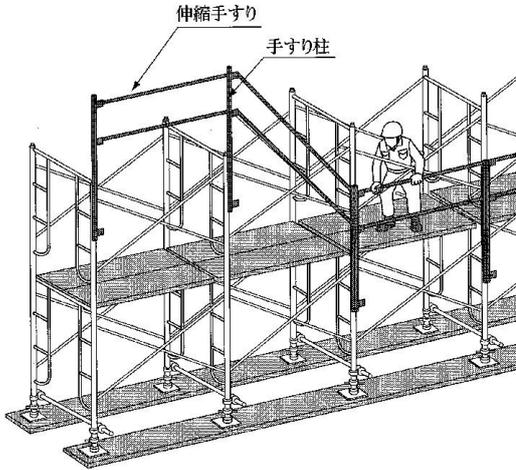
手すり先行工法の種類

参考資料
2

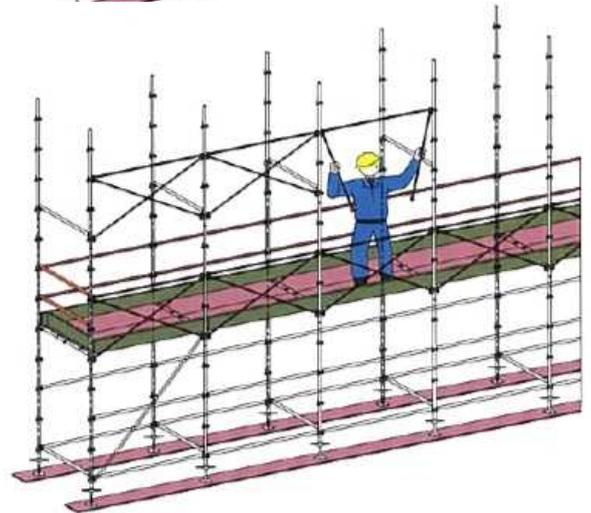
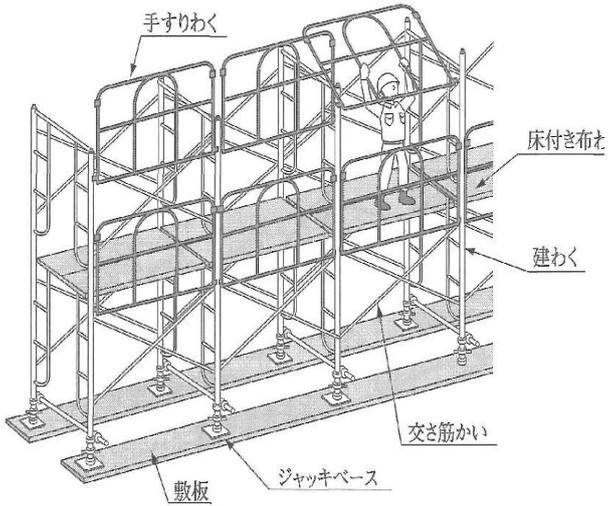
わく組足場

くさび緊結式足場

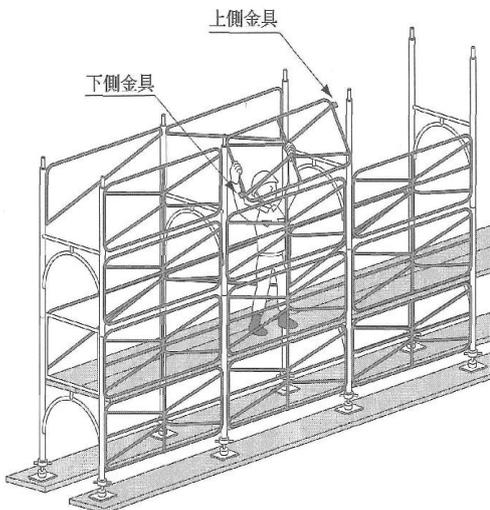
手すりの先送り方式



手すりの据置き方式



手すりの先行専用足場方式



足場からの墜落防止措置に関するアンケート調査結果

I 回答者に関する情報

I-1 年齢

①20～29歳	②30～39歳	③40～49歳	④50～59歳	⑤60歳以上	無回答	総計
0 (0.0%)	13 (2.3%)	129 (23.2%)	242 (43.5%)	168 (30.2%)	4 (0.7%)	556 (100.0%)

I-2 職種

①型わく工	②左官	③とび工	④鉄筋工	⑤電工	⑥配管工	⑦大工
52 (9.4%)	21 (3.8%)	73 (13.1%)	18 (3.2%)	26 (4.7%)	15 (2.7%)	17 (3.1%)
⑧造園工	⑨その他	無回答	総計			
17 (3.1%)	310 (55.8%)	7 (1.3%)	556 (100.0%)			

I-3 経験年数

①10年未満	②10～20年未満	③20～30年未満	④30年以上	無回答	総計
7 (1.3%)	42 (7.6%)	160 (28.8%)	340 (61.2%)	7 (1.3%)	556 (100.0%)

I-4 請負形態

①主に元請	②主に下請	③どちらとも いえない	無回答	総計
249 (44.8%)	251 (45.1%)	46 (8.3%)	10 (1.8%)	556 (100.0%)

II 業務で使用している足場に関する事項

II-1 主に使用する足場の種類(複数回答)

①わく組足場	②くさび緊結 式足場	③②以外の 単管本足場	④一側足場	⑤つり足場	⑥ローリング タワー	①から⑥を 選択した者 総計
349 (62.8%)	122 (21.9%)	121 (21.8%)	48 (8.6%)	39 (7.0%)	98 (17.6%)	394 (70.9%)
⑦使用しない	無回答	総計				
156 (28.1%)	6 (1.1%)	556 (100.0%)				

II-2 主に使用している足場の高さ(複数回答)

①2m未満	②2～5m 未満	③5～10m 未満	④10m以上	総計
25 (6.3%)	140 (35.5%)	152 (38.6%)	190 (48.2%)	394 (100.0%)

II-3 手すり先行工法による足場での作業の経験

①よくある	②時々ある	③ほとんどない	④ない	無回答	総計
156 (39.6%)	140 (35.5%)	54 (13.7%)	34 (8.6%)	10 (2.5%)	394 (100.0%)

II-4 足場からの墜落の経験

①本人が経験あり	②同僚があり	③経験なし	無回答	総計
13 (3.3%)	72 (18.3%)	294 (74.6%)	15 (3.8%)	394 (100.0%)

II-4-1 本人の足場からの墜落の経験の内容

	①わく組足場	②くさび緊結式足場	③②以外の単管本足場	⑤つり足場	無回答	総計
①2m未満	2	1	2			5 (38.5%)
②2~5m未満	3			2		5 (38.5%)
③5~10m未満	1					1 (7.7%)
④10m以上	1					1 (7.7%)
無回答					1	1 (7.7%)
総計	7 (53.8%)	1 (7.7%)	2 (15.4%)	2 (15.4%)	1 (7.7%)	13 (100.0%)

II-4-2 同僚の足場からの墜落の経験の内容

	①わく組足場	②くさび緊結式足場	③②以外の単管本足場	④一側足場	⑤つり足場	⑥ローリングタワー	⑦不明・無回答	総計
①2m未満	5	4						9 (12.5%)
②2~5m未満	24	4	9	3	2	2		44 (61.1%)
③5~10m未満	8	1					2	11 (15.3%)
④10m以上	7							7 (9.7%)
無回答							1	1 (1.4%)
総計	44 (61.1%)	9 (12.5%)	9 (12.5%)	3 (4.2%)	2 (2.8%)	2 (2.8%)	3 (4.2%)	72 (100.0%)

III 通常作業時における足場からの墜落防止措置に関する事項

III-1 わく組足場を作業床として使う場合

III-1-1 上さんの設置

		①必要	②必ずしも必要ではないが、望ましい	③不要	無回答	総計
主に使用している足場の種類	わく組足場	119 (34.1%)	135 (38.7%)	85 (24.4%)	10 (2.9%)	349 (100.0%)
	わく組足場以外	21 (46.7%)	20 (44.4%)	2 (4.4%)	2 (4.4%)	45 (100.0%)
主に使用している足場の高さ	5m未満	46 (45.5%)	39 (38.6%)	13 (12.9%)	3 (3.0%)	101 (100.0%)
	5m以上	94 (32.1%)	116 (39.6%)	74 (25.3%)	9 (3.1%)	293 (100.0%)
	10m未満	86 (42.2%)	83 (40.7%)	30 (14.7%)	5 (2.5%)	204 (100.0%)
	10m以上	54 (28.4%)	72 (37.9%)	57 (30.0%)	7 (3.7%)	190 (100.0%)
手すり先行工法による足場での作業経験	あり ※1	107 (36.1%)	112 (37.8%)	67 (22.6%)	10 (3.4%)	296 (100.0%)
	なし ※2	33 (33.7%)	43 (43.9%)	20 (20.4%)	2 (2.0%)	98 (100.0%)
足場からの墜落経験	本人があり	3 (23.1%)	7 (53.8%)	3 (23.1%)	0 (0.0%)	13 (100.0%)
	同僚があり	19 (26.4%)	28 (38.9%)	23 (31.9%)	2 (2.8%)	72 (100.0%)
	なし	118 (38.2%)	120 (38.8%)	61 (19.7%)	10 (3.2%)	309 (100.0%)
総計		140 (35.5%)	155 (39.3%)	87 (22.1%)	12 (3.0%)	394 (100.0%)

※1 手すり先行工法による足場での作業経験で、「①よくある」又は「②時々ある」のもの(以下同様)

※2 手すり先行工法による足場での作業経験で、「③ほとんどない」、「④ない」又は「無回答」のもの(以下同様)

●わく組足場の上さん 「必要」35.5% 「必ずしも必要ではないが、望ましい」39.3% 「不要」22.1%

Ⅲ-1-1 上さんの設置(理由欄の要旨)

①必要		140	100%	
理由欄回答数		57	41%	100%
	①人の墜落防止に有効	25	18%	44%
	②安全帯取付設備として適当である	10	7%	18%
	③すき間を小さくする	5	4%	9%
	その他	17	12%	30%

②必ずしも必要ではないが、望ましい		155	100%	
理由欄回答数		70	45%	100%
	①作業の障害になる	13	8%	19%
	②メッシュシートで十分である	10	6%	14%
	③安全帯取付設備として適当である	7	5%	10%
	その他	40	26%	57%

③不要		87	100%	
理由欄回答数		63	72%	100%
	①メッシュシートで十分である	31	36%	49%
	②交さ筋かいで十分	5	6%	8%
	②筋かいの上部から墜落する可能性は低い	5	6%	8%
	その他	22	25%	35%

Ⅲ-1-2 足場板等により建地と作業床のすき間を狭くする

		①必要	②必ずしも必要ではないが、望ましい	③不要	無回答	総計
主に使用している足場の種類	わく組足場	287 (82.2%)	46 (13.2%)	7 (2.0%)	9 (2.6%)	349 (100.0%)
	わく組足場以外	27 (60.0%)	15 (33.3%)	0 (0.0%)	3 (6.7%)	45 (100.0%)
主に使用している足場の高さ	5m未満	77 (76.2%)	20 (19.8%)	0 (0.0%)	4 (4.0%)	101 (100.0%)
	5m以上	237 (80.9%)	41 (14.0%)	7 (2.4%)	8 (2.7%)	293 (100.0%)
	10m未満	156 (76.5%)	41 (20.1%)	0 (0.0%)	7 (3.4%)	204 (100.0%)
	10m以上	158 (83.2%)	20 (10.5%)	7 (3.7%)	5 (2.6%)	190 (100.0%)
手すり先行工法による足場での作業経験	あり ※1	238 (80.4%)	42 (14.2%)	6 (2.0%)	10 (3.4%)	296 (100.0%)
	なし ※2	76 (77.6%)	19 (19.4%)	1 (1.0%)	2 (2.0%)	98 (100.0%)
足場からの墜落経験	本人があり	12 (92.3%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (100.0%)
	同僚があり	58 (80.6%)	13 (18.1%)	0 (0.0%)	1 (1.4%)	72 (100.0%)
	なし	244 (79.0%)	47 (15.2%)	7 (2.3%)	11 (3.6%)	309 (100.0%)
総計		314 (79.7%)	61 (15.5%)	7 (1.8%)	12 (3.0%)	394 (100.0%)

●わく組足場で、足場板等により建地と作業床のすき間を狭くする
「必要」79.7% 「必ずしも必要ではないが、望ましい」15.5%

Ⅲ-1-2 足場板等により建地と作業床のすき間を狭くする(理由欄の要旨)

①必要		314	100%	
理由欄回答数		166	53%	100%
①人の墜落防止に有効		85	27%	51%
②人の墜落、物の落下防止に有効		16	5%	10%
③安全な作業ができる		10	3%	6%
その他		55	18%	33%
②必ずしも必要ではないが、望ましい		61	100%	
理由欄回答数		28	46%	100%
①人の墜落防止に有効		5	8%	18%
②作業によってすき間があった方が良い場合もある		3	5%	11%
③人が墜落しない幅なら不要		2	3%	7%
その他		18	30%	64%
③不要		7	100%	
理由欄回答数		4	57%	100%
①現行で問題は生じていない		1	14%	25%
①作業に支障が出ている		1	14%	25%
その他		2	29%	50%

Ⅲ-1-3 幅木等により下さんの下のすき間を狭くする

		①必要	②必ずしも必要ではないが、望ましい	③不要	無回答	総計
主に使用している足場の種類	わく組足場	181 (51.9%)	115 (33.0%)	45 (12.9%)	8 (2.3%)	349 (100.0%)
	わく組足場以外	23 (51.1%)	18 (40.0%)	2 (4.4%)	2 (4.4%)	45 (100.0%)
主に使用している足場の高さ	5m未満	67 (66.3%)	26 (25.7%)	5 (5.0%)	3 (3.0%)	101 (100.0%)
	5m以上	137 (46.8%)	107 (36.5%)	42 (14.3%)	7 (2.4%)	293 (100.0%)
	10m未満	120 (58.8%)	65 (31.9%)	14 (6.9%)	5 (2.5%)	204 (100.0%)
	10m以上	84 (44.2%)	68 (35.8%)	33 (17.4%)	5 (2.6%)	190 (100.0%)
手すり先行工法による足場での作業経験	あり ※1	160 (54.1%)	88 (29.7%)	39 (13.2%)	9 (3.0%)	296 (100.0%)
	なし ※2	44 (44.9%)	45 (45.9%)	8 (8.2%)	1 (1.0%)	98 (100.0%)
足場からの墜落経験	本人があり	8 (61.5%)	1 (7.7%)	4 (30.8%)	0 (0.0%)	13 (100.0%)
	同僚があり	30 (41.7%)	27 (37.5%)	14 (19.4%)	1 (1.4%)	72 (100.0%)
	なし	166 (53.7%)	105 (34.0%)	29 (9.4%)	9 (2.9%)	309 (100.0%)
総計		204 (51.8%)	133 (33.8%)	47 (11.9%)	10 (2.5%)	394 (100.0%)

●わく組足場で、幅木等により下さんの下のすき間を狭くする
 「必要」51.8% 「必ずしも必要ではないが、望ましい」33.8% 「不要」11.9%

Ⅲ-1-3 幅木等により下さんの下のすき間を狭くする(理由欄の要旨)

①必要		204	100%	
理由欄回答数		109	53%	100%
①物の落下防止に有効		74	36%	68%
②人の墜落、物の落下防止に有効		13	6%	12%
③人の墜落防止に有効		13	6%	12%
その他		9	4%	8%
②必ずしも必要ではないが、望ましい		133	100%	
理由欄回答数		58	44%	100%
①物の落下防止に有効		27	20%	47%
②作業の障害になる		6	5%	10%
③安心感がある		4	3%	7%
その他		21	16%	36%
③不要		47	100%	
理由欄回答数		35	74%	100%
①メッシュシートで十分		13	28%	37%
②現行の墜落防止措置で十分		9	19%	26%
③作業の障害になる		9	19%	26%
その他		4	9%	11%

Ⅲ-2 くさび緊結式足場を作業床として使う場合

Ⅲ-2-1 足場板等により建地と作業床のすき間を狭くする

	①必要	②必ずしも必要ではないが、望ましい	③不要	無回答	総計
くさび緊結式足場を主に使用	100 (82.0%)	19 (15.6%)	2 (1.6%)	1 (0.8%)	122 (100.0%)
くさび緊結式足場以外を使用	213 (78.3%)	36 (13.2%)	3 (1.1%)	20 (7.4%)	272 (100.0%)
総計	313 (79.4%)	55 (14.0%)	5 (1.3%)	21 (5.3%)	394 (100.0%)

●くさび緊結式足場で、足場板等により建地と作業床のすき間を狭くする
「必要」79.4% 「必ずしも必要ではないが、望ましい」14.0%

Ⅲ-2-1 足場板等により建地と作業床のすき間を狭くする(理由欄の要旨)

①必要		313	100%	
理由欄回答数	①人の墜落防止に有効	67	21%	44%
	②物の落下防止に有効	20	6%	13%
	③人の墜落、物の落下防止に有効	17	5%	11%
	その他	48	15%	32%
	理由欄回答数	152	49%	100%
②必ずしも必要ではないが、望ましい		55	100%	
理由欄回答数	①作業内容による	5	9%	42%
	②人の墜落防止に有効	4	7%	33%
	③人の墜落、物の落下防止に有効	1	2%	8%
	その他	2	4%	17%
	理由欄回答数	12	22%	100%
③不要		5	100%	
理由欄回答数	①現行の対策で十分	2	40%	67%
	その他	1	20%	33%
	理由欄回答数	3	60%	100%

Ⅲ-2-2 幅木等により中さんの下のすき間を狭くする

	①必要	②必ずしも必要ではないが、望ましい	③不要	無回答	総計
くさび緊結式足場を主に使用	59 (48.4%)	43 (35.2%)	16 (13.1%)	4 (3.3%)	122 (100.0%)
くさび緊結式足場以外を使用	151 (55.5%)	73 (26.8%)	29 (10.7%)	19 (7.0%)	272 (100.0%)
総計	210 (53.3%)	116 (29.4%)	45 (11.4%)	23 (5.8%)	394 (100.0%)

●くさび緊結式足場で、幅木等により中さんの下のすき間を狭くする
 「必要」53.3% 「必ずしも必要ではないが、望ましい」29.4% 「不要」11.4%

Ⅲ-2-2 幅木等により中さんの下のすき間を狭くする(理由欄の要旨)

①必要		210	100%	
理由欄回答数	理由欄回答数	88	42%	100%
	①物の落下防止に有効	56	27%	64%
	②人の墜落防止に有効	13	6%	15%
	③人の墜落、物の落下防止に有効	10	5%	11%
	その他	9	4%	10%
②必ずしも必要ではないが、望ましい		116	100%	
理由欄回答数	理由欄回答数	37	32%	100%
	①物の落下防止に有効	15	13%	41%
	②メッシュシートで十分	4	3%	11%
	③作業の障害になる	4	3%	11%
	その他	14	12%	38%
③不要		45	100%	
理由欄回答数	理由欄回答数	27	60%	100%
	①中さんで十分	8	18%	30%
	②作業の障害になる	7	16%	26%
	③メッシュシートで十分	6	13%	22%
	その他	6	13%	22%

Ⅲ-3 一時的に手すりや交さ筋かいを取り外した場合の躯体側の墜落防止措置(複数回答)

①安全帯の使用	②張出し足場の設置	③安全ネットの設置	④作業後の手すり等の復旧	⑤手すり等復旧後の点検	⑥その他	無回答	総計
362 (91.9%)	95 (24.1%)	108 (27.4%)	197 (50.0%)	139 (35.3%)	9 (2.3%)	6 (1.5%)	394 (100.0%)

●足場で、一時的に手すりや交さ筋かいを取り外した場合の躯体側の墜落防止措置
 「安全帯の使用」91.9% 「作業後の手すり等の復旧」50.0% 「手すり等復旧後の点検」35.3%

Ⅲ-3-1 墜落により危険を及ぼすおそれがない躯体と足場板とすき間の基準を示す必要性

①必要	②必ずしも必要ではないが、望ましい	③不要	無回答	総計
74 (47.4%)	50 (32.1%)	25 (16.0%)	7 (4.5%)	156 (100.0%)

●足場で、墜落により危険を及ぼすおそれがない躯体と足場板とすき間の基準を示す
 「必要」47.4% 「必ずしも必要ではないが、望ましい」32.1% 「不要」16.0%

Ⅲ-3-1 墜落により危険を及ぼすおそれがない躯体と足場板とすき間の基準を示す必要性(理由欄の要旨)

①必要		74	100%	
理由欄回答数		54	73%	100%
	①客観的に判断ができる	19	26%	35%
	②人の墜落防止に有効	8	11%	15%
	③物の落下防止に有効	5	7%	9%
	その他	22	30%	41%

②必ずしも必要ではないが、望ましい		50	100%	
理由欄回答数		31	62%	100%
	①作業により基準は異なる	14	28%	45%
	②客観的に判断ができる	5	10%	16%
	③人の墜落防止に有効	3	6%	10%
	その他	9	18%	29%

③不要		25	100%	
理由欄回答数		22	88%	100%
	①作業の障害になる	6	24%	27%
	②作業により基準は異なる	4	16%	18%
	②危険はない	4	16%	18%
	その他	8	32%	36%

Ⅲ-4 足場を使用する作業の特別教育の必要性

①必要	②必ずしも必要ではないが、望ましい	③不要	無回答	総計
142 (36.0%)	161 (40.9%)	79 (20.1%)	12 (3.0%)	394 (100.0%)

●足場を使用する作業の特別教育

「必要」36.0% 「必ずしも必要ではないが、望ましい」40.9% 「不要」20.1%

Ⅲ-4 足場を使用する作業の特別教育の必要性(理由欄の要旨)

①必要	142	100%	
理由欄回答数	85	60%	100%
①知識がないと危険	42	30%	49%
②危険を伴う作業であるため	8	6%	9%
③筋かい等取り外して戻さない人がいる	7	5%	8%
その他	28	20%	33%

②必ずしも必要ではないが、望ましい	161	100%	
理由欄回答数	66	41%	100%
①知識がないと危険	19	12%	29%
②安全意識を高めることができる	9	6%	14%
③作業主任者や職長が指導すればよい	3	2%	5%
その他	35	22%	53%

③不要	79	100%	
理由欄回答数	39	49%	100%
①全員に実施は困難	9	11%	23%
②作業主任者や職長が指導すればよい	5	6%	13%
③新規入場者教育で十分	4	5%	10%
その他	21	27%	54%

Ⅲ-5 元請として工事を請け負う場合

Ⅲ-5-1 わく組足場を作業床として使う場合

Ⅲ-5-1-1 上さんの設置

①必要	②必ずしも必要ではないが、望ましい	③不要	無回答	総計
144 (36.5%)	129 (32.7%)	94 (23.9%)	27 (6.9%)	394 (100.0%)

Ⅲ-5-1-1 上さんの設置(理由欄の要旨)

①必要	144	100%	
理由欄回答数	50	35%	100%
①人の墜落防止に有効	19	13%	38%
②安全のため	9	6%	18%
③安全帯取付設備として適当	7	5%	14%
その他	15	10%	30%

②必ずしも必要ではないが、望ましい	129	100%	
理由欄回答数	43	33%	100%
①安全帯取付設備として適当	5	4%	12%
①メッシュシートで十分	5	4%	12%
①作業の障害になる	5	4%	12%
その他	28	22%	65%

③不要	94	100%	
理由欄回答数	55	59%	100%
①現行の対策で十分	16	17%	29%
②メッシュシートで十分	10	11%	18%
③意味がない	7	7%	13%
その他	22	23%	40%

Ⅲ-5-1-2 足場板等により建地と作業床のすき間を狭くする

①必要	②必ずしも必要ではないが、望ましい	③不要	無回答	総計
272 (69.0%)	86 (21.8%)	12 (3.0%)	24 (6.1%)	394 (100.0%)

Ⅲ-5-1-2 足場板等により建地と作業床のすき間を狭くする(理由欄の要旨)

①必要	272	100%	
理由欄回答数	97	36%	100%
①人の墜落防止に有効	41	15%	42%
②物の落下防止に有効	15	6%	15%
③人の墜落、物の落下防止に有効	11	4%	11%
その他	30	11%	31%

②必ずしも必要ではないが、望ましい	86	100%	
理由欄回答数	30	35%	100%
①人の墜落防止に有効	8	9%	27%
②安全のため	4	5%	13%
②作業により異なる	4	5%	13%
その他	14	16%	47%

③不要	12	100%	
理由欄回答数	7	58%	100%
①作業により異なる	1	8%	14%
①人の墜落防止に有効	1	8%	14%
①現行の対策で十分	1	8%	14%
その他	4	33%	57%

Ⅲ-5-1-3 幅木等により下さんのすき間を狭くする

①必要	②必ずしも必要ではないが、望ましい	③不要	無回答	総計
195 (49.5%)	120 (30.5%)	55 (14.0%)	24 (6.1%)	394 (100.0%)

Ⅲ-5-1-3 幅木等により下さんのすき間を狭くする(理由欄の要旨)

①必要	195	100%	
理由欄回答数	67	34%	100%
①物の落下防止に有効	48	25%	72%
②人の墜落防止に有効	8	4%	12%
③人の墜落、物の落下防止に有効	4	2%	6%
その他	7	4%	10%

②必ずしも必要ではないが、望ましい	120	100%	
理由欄回答数	43	36%	100%
①物の落下防止に有効	19	16%	44%
②幅木か下さんで十分	3	3%	7%
③人の墜落防止に有効	2	2%	5%
その他	19	16%	44%

③不要	55	100%	
理由欄回答数	28	51%	100%
①作業の障害になる	5	9%	18%
①メッシュシートで十分	5	9%	18%
②物の落下防止に有効	3	5%	11%
その他	15	27%	54%

Ⅲ-5-2 くさび緊結式足場を作業床として使う場合

Ⅲ-5-2-1 足場板等により建地と作業床のすき間を狭くする

①必要	②必ずしも必要ではないが、望ましい	③不要	無回答	総計
254 (64.5%)	89 (22.6%)	14 (3.6%)	37 (9.4%)	394 (100.0%)

Ⅲ-5-2-1 足場板等により建地と作業床のすき間を狭くする(理由欄の要旨)

①必要	254	100%	
理由欄回答数	71	28%	100%
①人の墜落防止に有効	33	13%	46%
②人の墜落、物の落下防止に有効	11	4%	15%
③物の落下防止に有効	7	3%	10%
その他	20	8%	28%

②必ずしも必要ではないが、望ましい	89	100%	
理由欄回答数	20	22%	100%
①人の墜落防止に有効	4	4%	20%
①作業の障害になる	4	4%	20%
③物の落下防止に有効	3	3%	15%
その他	9	10%	45%

③不要	14	100%	
理由欄回答数	10	71%	100%
①コストがかかる	3	21%	30%
②現行の対策で十分	2	14%	20%
③メッシュシートで十分	1	7%	10%
その他	4	29%	40%

Ⅲ-5-2-2 幅木等により中さんの下のすき間を狭くする

①必要	②必ずしも必要ではないが、望ましい	③不要	無回答	総計
176 (44.7%)	129 (32.7%)	50 (12.7%)	39 (9.9%)	394 (100.0%)

Ⅲ-5-2-2 幅木等により中さんの下のすき間を狭くする(理由欄の要旨)

①必要	176	100%	
理由欄回答数	46	26%	100%
①物の落下防止対策として有効	25	14%	54%
②人の墜落防止に有効	7	4%	15%
②人の墜落、物の落下防止に有効	7	4%	15%
その他	7	4%	15%

②必ずしも必要ではないが、望ましい	129	100%	
理由欄回答数	34	26%	100%
①物の落下防止に有効	19	15%	56%
②メッシュシートで十分	3	2%	9%
③足場により異なる	2	2%	6%
その他	10	8%	29%

③不要	50	100%	
理由欄回答数	21	42%	100%
①作業の障害になる	6	12%	29%
②メッシュシートで十分	4	8%	19%
③コストがかかる	3	6%	14%
その他	8	16%	38%

IV 足場の組立て作業時の墜落防止措置に関する事項

IV-1 わく組足場及びくさび緊結式足場の組立て作業の経験

		①よくある	②時々ある	③ほとんどない	④ない	無回答	①から③を選択した者	総計
職種	①型わく工	7 (13.7%)	3 (5.9%)	5 (9.8%)	35 (68.6%)	1 (2.0%)	15 (29.4%)	51 (100.0%)
	②左官			6 (28.6%)	13 (61.9%)	2 (9.5%)	6 (28.6%)	21 (100.0%)
	③とび工	51 (72.9%)	11 (15.7%)	0 (0.0%)	6 (8.6%)	2 (2.9%)	62 (88.6%)	70 (100.0%)
	④鉄筋工			1 (5.9%)	14 (82.4%)	2 (11.8%)	1 (5.9%)	17 (100.0%)
	⑤電工		3 (25.0%)	1 (8.3%)	8 (66.7%)		4 (33.3%)	12 (100.0%)
	⑥配管工				4 (100.0%)		0	4 (100.0%)
	⑦大工	2 (13.3%)	3 (20.0%)	2 (13.3%)	7 (46.7%)	1 (6.7%)	7 (46.7%)	15 (100.0%)
	⑧造園工				1 (100.0%)		0	1 (100.0%)
	⑨その他	36 (18.2%)	61 (30.8%)	29 (14.6%)	63 (31.8%)	9 (4.5%)	126 (63.6%)	198 (100.0%)
	無回答		4 (80.0%)		1 (20.0%)		4 (80.0%)	5 (100.0%)
総計	96 (24.4%)	85 (21.6%)	44 (11.2%)	152 (38.6%)	17 (4.3%)	225 (57.1%)	394 (100.0%)	

IV-2-1 手すり先送り方式・わく組足場の組立て作業の経験

①よくある	②時々ある	③ほとんどない	④ない	無回答	総計
46 (20.4%)	82 (36.4%)	56 (24.9%)	33 (14.7%)	8 (3.6%)	225 (100.0%)

IV-2-2 手すり据置き方式・わく組足場の組立て作業の経験

①よくある	②時々ある	③ほとんどない	④ない	無回答	総計
58 (25.8%)	73 (32.4%)	61 (27.1%)	25 (11.1%)	8 (3.6%)	225 (100.0%)

IV-2-3 手すり先行専用足場方式・わく組足場の組立て作業の経験

①よくある	②時々ある	③ほとんどない	④ない	無回答	総計
33 (14.7%)	64 (28.4%)	70 (31.1%)	47 (20.9%)	11 (4.9%)	225 (100.0%)

IV-2-4 手すり先送り方式・くさび緊結式足場の組立て作業の経験

①よくある	②時々ある	③ほとんどない	④ない	無回答	総計
16 (7.1%)	40 (17.8%)	77 (34.2%)	78 (34.7%)	14 (6.2%)	225 (100.0%)

IV-2-5 手すり据置き方式・くさび緊結式足場の組立て作業の経験

①よくある	②時々ある	③ほとんどない	④ない	無回答	総計
18 (8.0%)	41 (18.2%)	78 (34.7%)	73 (32.4%)	15 (6.7%)	225 (100.0%)

IV-3 わく組足場及びくさび緊結式足場の最上層で組立て作業を行う場合の墜落防止措置

IV-3-1 足場の両側に一層下から先行して手すりを設置

		①適当	②適当であるが、問題もある	③不適当	無回答	総計
手すり先行工法による足場の組立て経験	あり ※3	94 (50.3%)	66 (35.3%)	22 (11.8%)	5 (2.7%)	187 (100.0%)
	なし ※4	19 (50.0%)	10 (26.3%)	3 (7.9%)	6 (15.8%)	38 (100.0%)
総計		113 (50.2%)	76 (33.8%)	25 (11.1%)	11 (4.9%)	225 (100.0%)

※3 手すり先行工法のいずれか1つ以上の方式で、「①よくある」又は「②時々ある」のもの(以下同様)

※4 手すり先行工法のすべて方式で、「③ほとんどない」、「④ない」又は「無回答」のもの(以下同様)

●わく組足場等の最上層で組立て作業を行う場合で、足場の両側に一層下から先行して手すりを設置する「適当」50.2% 「適当であるが、問題もある」33.8% 「不適当」11.1%

IV-3-1 足場の両側に一層下から先行して手すりを設置(理由欄の要旨)

①適当	113	100%	
理由欄回答数	32	28%	100%
①人の墜落防止に有効	10	9%	31%
②安全帯を取り付けるため	7	6%	22%
③作業手順として最良	1	1%	3%
その他	14	12%	44%

②適当であるが、問題もある	76	100%	
理由欄回答数	44	58%	100%
①躯体側に取り付けた場合、作業の障害になる	18	24%	41%
②作業員の負担が大きい	6	8%	14%
③組立・解体中に部材等が落下する危険がある	4	5%	9%
その他	16	21%	36%

③不適当	25	100%	
理由欄回答数	16	64%	100%
躯体側に取り付けた場合、作業の障害になる	7	28%	44%
手すりは外側のみ設置すればよい	3	12%	19%
組立・解体中に部材等が落下する危険がある	1	4%	6%
その他	5	20%	31%

IV-3-2 足場の外側に一層下から先行して手すりを設置し、安全帯をかける

		①適当	②適当であるが、問題もある	③不適当	無回答	総計
手すり先行工法による足場の組立て経験	あり ※3	105 (56.1%)	64 (34.2%)	12 (6.4%)	6 (3.2%)	187 (100.0%)
	なし ※4	19 (50.0%)	10 (26.3%)	2 (5.3%)	7 (18.4%)	38 (100.0%)
請負形態	①主に元請	61 (57.5%)	32 (30.2%)	4 (3.8%)	9 (8.5%)	106 (100.0%)
	②主に下請	53 (53.0%)	34 (34.0%)	9 (9.0%)	4 (4.0%)	100 (100.0%)
	③どちらともいえない	10 (58.8%)	6 (35.3%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	17 (100.0%)
	無回答	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)
総計		124 (55.1%)	74 (32.9%)	14 (6.2%)	13 (5.8%)	225 (100.0%)

●わく組足場等の最上層で組立て作業を行う場合で、足場の外側に一層下から先行して手すりを設置し、安全帯をかける「適当」55.1%「適当であるが、問題もある」32.9%「不適当」6.2%

IV-3-2 足場の外側に一層下から先行して手すりを設置し、安全帯をかける(理由欄の要旨)

①適当	124	100%	
理由欄回答数	23	19%	100%
①より安全な作業手順である	5	4%	22%
②人の墜落防止に有効	4	3%	17%
③安心感がある	2	2%	9%
その他	12	10%	52%

②適当であるが、問題もある	74	100%	
理由欄回答数	41	55%	100%
①安全帯の掛け替えを何度も行わなければならない	12	16%	29%
②行動範囲が限られる	6	8%	15%
③手すりの強度(安全帯を掛けた場合を含む)に不安がある	4	5%	10%
その他	19	26%	46%

③不適当	14	100%	
理由欄回答数	9	64%	100%
①行動範囲が限られる	2	14%	22%
①墜落することもある	2	14%	22%
③親綱の方が良い	1	7%	11%
その他	4	29%	44%

IV-3-3 一層下から先行して親綱を設置し、安全帯をかける

		①適当	②適当であるが、問題もある	③不適當	無回答	総計
手すり先行工法による足場の組立て経験	あり ※3	69 (36.9%)	73 (39.0%)	31 (16.6%)	14 (7.5%)	187 (100.0%)
	なし ※4	18 (47.4%)	12 (31.6%)	1 (2.6%)	7 (18.4%)	38 (100.0%)
総計		87 (38.7%)	85 (37.8%)	32 (14.2%)	21 (9.3%)	225 (100.0%)

●わく組足場等の最上層で組立て作業を行う場合で、一層下から先行して親綱を設置し、安全帯をかける「適当」38.7% 「適当であるが、問題もある」37.8% 「不適當」14.2%

IV-3-3 一層下から先行して親綱を設置し、安全帯をかける(理由欄の要旨)

①適当		87	100%	
理由欄回答数		17	20%	100%
①親綱による墜落防止対策で十分である		3	3%	18%
①移動しやすい		3	3%	18%
③先行手すりを設置しても親綱が必要である		1	1%	6%
その他		10	11%	59%
②適当であるが、問題もある		85	100%	
理由欄回答数		37	44%	100%
①親綱の強度などについて不安がある		6	7%	16%
②親綱に比べ手すり先行の方が安全である		3	4%	8%
②親綱は複数人が同時に使用できず問題がある		3	4%	8%
その他		25	29%	68%
③不適當		32	100%	
理由欄回答数		15	47%	100%
①親綱の強度などについて不安がある		4	13%	27%
②作業に支障がでる		3	9%	20%
③親綱は複数人が同時に使用できず問題がある		2	6%	13%
その他		6	19%	40%

IV-3-4 くさび緊結式足場で、一層下から先行して建地を設置し、部材を打ち込むポケットに安全帯をかける

		①適当	②適当であるが、問題もある	③不適当	無回答	総計
手すり先行 工法による 足場の組立 て経験	あり ※3	46 (24.6%)	51 (27.3%)	59 (31.6%)	31 (16.6%)	187 (100.0%)
	なし ※4	8 (21.1%)	7 (18.4%)	8 (21.1%)	15 (39.5%)	38 (100.0%)
総計		54 (24.0%)	58 (25.8%)	67 (29.8%)	46 (20.4%)	225 (100.0%)

●くさび緊結式足場の最上層で組立て作業を行う場合、一層下から先行して建地を設置し、部材を打ち込むポケットに安全帯をかける「適当」24.0%「適当であるが、問題もある」25.8%「不適当」29.8%

IV-3-4 くさび緊結式足場で、一層下から先行して建地を設置し、部材を打ち込むポケットに安全帯をかける
(理由欄の要旨)

①適当		54	100%	
理由欄回答数		2	4%	100%
①親綱を張って作業すべきである		1	2%	50%
その他		1	2%	50%
②適当であるが、問題もある		58	100%	
理由欄回答数		26	45%	100%
①作業範囲が狭い		8	14%	31%
②安全帯の掛け替えが多くなる		4	7%	15%
③2丁掛けで作業を行う必要がある		3	5%	12%
その他		11	19%	42%
③不適当		67	100%	
理由欄回答数		33	49%	100%
①作業範囲が狭い		7	10%	21%
②親綱を張って作業すべきである		6	9%	18%
③安全帯を取り付ける設備ではない		5	7%	15%
その他		15	22%	45%

IV-4 わく組足場等の及びくさび緊結式足場の組立て作業で、作業床があれば一時的に安全帯を使用しないことがあるか

①よくある	②時々ある	③ほとんどない	④ない	無回答	総計
14 (6.2%)	71 (31.6%)	76 (33.8%)	53 (23.6%)	11 (4.9%)	225 (100.0%)

●わく組足場等の最上層で組立て作業を行う場合、作業床があれば一時的に安全帯を使用しない「ほとんどない」33.8%「時々ある」31.6%「ない」23.6%「よくある」6.2%

IV-5 足場の組立て、解体又は変更の作業の特別教育の必要性

①必要	②必ずしも必要ではないが、望ましい	③不要	無回答	総計
91 (40.4%)	87 (38.7%)	34 (15.1%)	13 (5.8%)	225 (100.0%)

●足場の組立て等作業の特別教育

「必要」40.4% 「必ずしも必要ではないが、望ましい」38.7% 「不要」15.1%

IV-5 足場の組立て、解体又は変更の作業の特別教育の必要性(理由欄の要旨)

①必要	91	100%	
理由欄回答数	44	48%	100%
①関係者には最低限の知識が必要	27	30%	61%
②安全意識を向上させるため	6	7%	14%
③人の墜落防止対策に有効	2	2%	5%
その他	9	10%	20%
②必ずしも必要ではないが、望ましい	87	100%	
理由欄回答数	27	31%	100%
①関係者には最低限の知識が必要	10	11%	37%
②作業主任者が現場で指揮すればよい	4	5%	15%
③受講のための時間を確保することが大変である	3	3%	11%
その他	10	11%	37%
③不要	34	100%	
理由欄回答数	20	59%	100%
①作業主任者が現場で指揮すればよい	5	15%	25%
②足場の組み立て等作業主任者講習を受講している	3	9%	15%
③対象者が多すぎて特別教育を受けることができない	1	3%	5%
その他	11	32%	55%

IV-6 足場の組立て等作業主任者の定期的な能力向上教育の必要性

①必要	②必ずしも必要ではないが、望ましい	③不要	無回答	総計
70 (31.1%)	128 (56.9%)	17 (7.6%)	10 (4.4%)	225 (100.0%)

●足場の組立て等作業主任者の定期的な能力向上教育

「必要」31.1% 「必ずしも必要ではないが、望ましい」56.9% 「不要」7.6%

IV-6 足場の組立て等作業主任者の定期的な能力向上教育の必要性(理由欄の要旨)

①必要	70	100%	
理由欄回答数	31	44%	100%
①新しい技術等について教育すべき	7	10%	23%
②基本的な事項について再確認するため	5	7%	16%
③安全のため	4	6%	13%
その他	15	21%	48%
②必ずしも必要ではないが、望ましい	128	100%	
理由欄回答数	57	45%	100%
①新しい技術等について教育すべき	10	8%	18%
②慣れによる災害発生防止のために必要	4	3%	7%
③各現場で対策をとればよい	3	2%	5%
その他	40	31%	70%
③不要	17	100%	
理由欄回答数	6	35%	100%
①現場での実務経験が重要	2	12%	33%
②各現場で対策をとればよい	1	6%	17%
②再教育で能力向上すると思えない	1	6%	17%
その他	2	12%	33%

IV-7-1 足場の組立て・変更を依頼した元方事業者等の注文者による点検の必要性

①必要	②必ずしも必要ではないが、望ましい	③不要	無回答	総計
110 (48.9%)	84 (37.3%)	18 (8.0%)	13 (5.8%)	225 (100.0%)

●足場の組立て等後の注文者による点検

「必要」48.9% 「必ずしも必要ではないが、望ましい」37.3% 「不要」8.0%

IV-7-1 足場の組立て・変更を依頼した元方事業者等の注文者による点検の必要性(理由欄の要旨)

①必要	理由欄回答数	110	100%	
	①計画通りに足場が組まれているか確認する必要がある	53	48%	100%
	②現場の統括をしている元請が確認すべきものである	18	16%	34%
	③複数の目で確認した方が良い	7	6%	13%
	①複数の目で確認した方が良い	5	5%	9%
	その他	23	21%	43%

②必ずしも必要ではないが、望ましい	理由欄回答数	84	100%	
	①複数の目で確認した方が良い	30	36%	100%
	②計画通りに足場が組まれているか確認する必要がある	6	7%	20%
	③現場の統括をしている元請が確認すべきものである	4	5%	13%
	①現場の統括をしている元請が確認すべきものである	2	2%	7%
	その他	18	21%	60%

③不要	理由欄回答数	18	100%	
	①足場を使用する者が確認すればよい	8	44%	100%
	①元方事業者は点検方法等知らない	1	6%	13%
	①現場を仕切る作業主任者が責任をもって確認するべきである	1	6%	13%
	その他	5	28%	63%

IV-7-2 足場の組立て・変更を行った者以外の十分な知識・経験を有する第三者による点検の必要性

①必要	②必ずしも必要ではないが、望ましい	③不要	無回答	総計
74 (32.9%)	99 (44.0%)	40 (17.8%)	12 (5.3%)	225 (100.0%)

●足場の組立て等を行った者以外の十分な知識・経験を有する第三者による点検

「必要」32.9% 「必ずしも必要ではないが、望ましい」44.0% 「不要」17.8%

IV-7-2 足場の組立て・変更を行った者以外の十分な知識・経験を有する第三者による点検の必要性(理由欄の要旨)

①必要	理由欄回答数	74	100%	
	①複数の目で確認した方が良い	24	32%	100%
	②安全に作業を行うため	9	12%	38%
	③すぐに確認することができず作業の遅れ等につながる	2	3%	8%
	①すぐに確認することができず作業の遅れ等につながる	1	1%	4%
	その他	12	16%	50%

②必ずしも必要ではないが、望ましい	理由欄回答数	99	100%	
	①複数の目で確認した方が良い	27	27%	100%
	②時間や費用の増加等により難しい	6	6%	22%
	②時間や費用の増加等により難しい	3	3%	11%
	③すぐに確認することができず作業の遅れ等につながる	3	3%	11%
	その他	15	15%	56%

③不要	理由欄回答数	40	100%	
	①時間や費用の増加等により難しい	11	28%	100%
	①現場の統括をしている元請が確認すべきものである	3	8%	27%
	③すぐに確認することができず作業の遅れ等につながる	3	8%	27%
	③すぐに確認することができず作業の遅れ等につながる	1	3%	9%
	その他	4	10%	36%

IV-8 元請として工事を請け負う場合、わく組足場及びくさび緊結式足場の最上層で組立て作業を行う場合の
墜落防止措置

IV-8-1 足場の外側に一層下から先行して手すりを設置し、安全帯をかける措置

		①適当	②適当であるが、問題もある	③不適當	無回答	総計
請負形態	①主に元請	70 (66.0%)	27 (25.5%)	1 (0.9%)	8 (7.5%)	106 (100.0%)
	②主に下請	55 (55.0%)	34 (34.0%)	1 (1.0%)	10 (10.0%)	100 (100.0%)
	③どちらとも いえない	11 (64.7%)	5 (29.4%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	17 (100.0%)
	無回答	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)
総計		137 (60.9%)	67 (29.8%)	3 (1.3%)	18 (8.0%)	225 (100.0%)

IV-8-1 足場の外側に一層下から先行して手すりを設置し、安全帯をかける措置(理由欄の要旨)

①適当		137	100%	
理由欄回答数		52	38%	100%
①人の墜落防止対策に有効		9	7%	17%
②安全帯を使用することが大切である		6	4%	12%
②安全性を確保できる		6	4%	12%
その他		31	23%	60%
②適当であるが、問題もある		67	100%	
理由欄回答数		36	54%	100%
①手すりは安全帯の掛け替えが多く危険であり、親綱の方が作業性が良い		5	7%	14%
②部材(手すり枠など)を落下させる可能性があり、危険である		3	4%	8%
③費用増加により工事を受注できなくなる		2	3%	6%
その他		26	39%	72%
③不適當		3	100%	
理由欄回答数		1	33%	100%
①手すりは安全帯の掛け替えが多く危険であり、親綱の方が作業性が良い		1	33%	100%